

〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

牛津 信忠 うしづ・のぶただ

1945年生まれ。同志社大学大学院修士課程（社会福祉学）修了。ロンドン大学（LSE）M.Sc. コース留学。ケンブリッジ大学客員研究員。博士（学術）聖学院大学。聖学院大学人間福祉学部学部長，聖学院大学大学院人間福祉学研究科長を経て，現在，聖学院大学客員教授。

〔著書〕『社会福祉における相互的人格主義』Ⅰ・Ⅱ（久美），『社会福祉原論』（編著，黎明書房），『地域福祉論』（編著，黎明書房），『標準社会福祉用語事典』（共編著，秀和システム），『人間福祉スーパービジョン』（共編著，聖学院大学出版会），『社会福祉における場の究明』（丸善ブラネット：丸善出版）ほか。

〔訳書〕ロバート・ピンカー『社会福祉三つのモデル——福祉原理論の探究』（共訳，黎明書房），Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD) 編『ケアリング・ワールド』（共監訳，黎明書房）ほか。

清水 正之 しみず・まさゆき

聖学院大学学長，聖学院大学総合研究所所長。東京大学文学部倫理学科卒業，同大学院博士課程単位取得満期退学，博士（人文科学，お茶の水女子大学）。2007年より聖学院大学教授，アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科長・人文学部長を経て現職。日本倫理学会評議員，東大学生キリスト教青年会理事。専門は倫理学・日本倫理思想史。

〔著訳書〕『日本思想全史』（筑摩書房），『国学の他者像——誠実と虚偽』（ぺりかん社），『甦る和辻哲郎——人文科学の再生に向けて』（共編著，ナカニシヤ出版），『岩波講座 日本の思想』第四卷（共著，岩波書店），『生きる意味——キリスト教への問いかけ』（共編著，オリエンス宗教研究所），『教会と学校での宗教教育再考』（共著，オリエンス宗教研究所），『ホモ・コントリビューエンス——滝久雄・貢献する気持ちの研究』（共著，未来社）。ヘルマン・オームス『徳川イデオロギー』（共訳，ぺりかん社），ほか。

시미즈 마사유키

세이카쿠인대학교 총장, 세이카쿠인대학교 종합연구소 소장. 도쿄대학교 문학부 윤리학과 졸업, 도쿄대학교대학원 박사과정 학점취득 만기퇴학, 박사(인문과학, 오차노미즈여자대학교). 2007년부터 세이카쿠인대학교 교수, 미국·유럽 문화학 연구과장·인문대학 부장을 거쳐 현직. 일본윤리학회 평의원, 도쿄대학생 기독교청년회 이사. 전문은 윤리학·일본 윤리사상사.

[지역서]

『日本思想全史 〈일본사상전사〉』(筑摩書房 〈치쿠마서방〉), 『国学の他者像—誠実と虚偽 〈국학의 타자상—성실과 허위〉』(ベリかん社 〈페리칸사〉), 『甦る和辻哲郎—人文科学の再生に向けて 〈부활하는 와즈지 테츠로—인문과학의 재생을 위해〉』(共編著 〈공편저〉, ナカニシヤ出版 〈나카니시아 출판〉), 『岩波講座 日本の思想 〈이와나미강좌 일본의 사상〉』第四卷 〈제4권〉(共著 〈공저〉, 岩波書店 〈이와나미서점〉), 『生きる意味—キリスト教への問いかけ 〈삶의 의미—그리스도교에 대한 질문〉』(共編著 〈공편저〉, オリエンス宗教研究所 〈오리엔스 종교연구소〉), 『教会と学校での宗教教育再考 〈교회와 학교에서의 종교교육 재고〉』(共著 〈공저〉, オリエンス宗教研究所 〈오리엔스 종교연구소〉), 『ホモ・コントリビューエンス—滝久雄・貢献する気持ちの研究 〈호모·콘트리뷰엔스—타키 히사오·공헌하는 기분의 연구〉』(共著 〈공저〉, 未來社 〈미래사〉), ヘルマン・オームス(Herman Ooms) 『徳川イデオロギー 〈도쿠가와 이데올로기〉』(共訳 〈공역〉, ベリかん社 〈페리칸사〉), 기타.

片柳 榮一 かたやなぎ・えいいち

聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科客員教授
京都大学文学部哲学科卒業。同大学院文学研究科修士課程宗教学(基督教学)満期退学。同大研修員を経て, ドイツ, エアランゲン・ニュルンベルク大学へ留学。帰国後, 関西学院大学商学部専任講師, 神戸大学教養部助教授, 京都大学大学院文学研究科教授, 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科教授を歴任。京都大学博士(文学)。京都大学名誉教授。また, 2018年9月まで日本基督教学会理事長を務めた。著書に『初期アウグスティヌス哲学の形成』創文社(1995), その他, 著書・論文多数。

카타야나기 에이이치

세이가쿠인대학교 대학원 미국유럽문화학연구과 객원교수
교토대학교 문학부 철학과 졸업. 동대학 문학연구과 석사과정 종교학(기독교학) 수료.
동대학 연구원을 거쳐 독일 에를랑겐-뉘른베르크 대학교 유학. 귀국 후 간사이대학원대학 상학부 전임강사, 고베대학교 교양학교 조교수, 교토대학교 대학원 문학연구과 교수, 세이가쿠인대학교 대학원 미국유럽문화학연구과 교수의 역임. 문학박사(교토대학교), 교토대학교 명예교수. 2018년 9월까지 일본기독교학회 이사장 역임. 주저 『초기 아우구스투누스 철학의 형성』創文社(1995) 외 저서, 논문 다수.

白 忠 鉉 벡·츄نhyon [Chung-Hyun Baik]

長老会神学大学校助教授
韓国ソウル大学校哲学科(B.A.)。韓国長老会神学大学校神学大学院(M.Div.)。米国プリ

ンストン神学校 (Th.M.)。イエール大学神学大学院 (S.T.M.)。パークレー神学大学院連合 (Graduate Theological Union, Ph.D.)。現在, 長老会神学大学校助教授 (組織神学—ヨムクァン教会協力牧師)。

〔著書〕『内在的三位一体と経綸的三位一体』(2015), 『南北韓統一のための三位一体的平和統一神学の模索』(2012), *The Holy Trinity—God for God and God for Us*, Eugene: Pickwick Publications, 2011. その他, 著書・論文多数。

백중현

장로회신학대학교 조교수

조직신학, Ph.D.

서울대학교 철학과 (B.A.). 장로회신학대학교 신학대학원 (M.Div.). 프린스턴신학교 대학원 (Th.M.). 예일대학교 대학원 (S.T.M.). 버클리 연합신학대학원 (Ph.D.).

〔저서〕『내재적 삼위일체와 경륜적 삼위일체』(2015), 『남북한 평화통일을 위한 삼위일체적 평화통일 신학의 모색』(2012), *The Holy Trinity—God for God and God for Us*, Eugene: Pickwick Publications, 2011. 기타 저서와 논문들이 다수 있음.

金 道 訓 キム・ドフン [Kim, Do Hoon]

長老会神学大学校教授

韓国長老会神学大学校神学科 (Th.B.)。同大学校神学大学院 (M.Div.)。同大学校大学院 (Th.M.)。独テュービンゲン大学 (Dr. theol.)。現在, 長老会神学大学校教授 (組織神学—ミョンソン教会協力牧師)。

〔著書〕『生態の神学と生態の靈性』(2009), 『道の上の神 = An Introduction To Christian Theology 日常, 生命, 弁証の目をもって見る神学』(2014)。その他, 著書・論文多数。

김도훈

장로회신학대학교 교수

조직신학, Dr. theol.

장로회신학대학교 신학과 (Th.B.)。장로회신학대학교 신학대학원 (M.Div.)。장로회신학대학교 대학원 (Th.M.)。독일 Tübingen 대학교 (Dr. theol.)。

〔저서〕『생태신학과 생태영성』(2009), 『도 위의 하나님 = An Introduction To Christian Theology 일상, 생명, 변증의 눈으로 보는 신학』(2014), 기타 저서와 논문들이 다수 있음.

村瀬 天出夫 むらせ・あまでお

聖学院大学人文学部欧米文化学科特任講師

1977年東京生まれ。国際基督教大学で西洋科学史を学びドイツ・ハイデルベルク大学に留学。

ヨアヒム・テレ教授のもとで初期近代の錬金術師・医学改革者パラケルススとその思想について研究した。「1600年前後のドイツ語圏におけるパラケルスス主義と終末論」により同大学哲学博士学位を取得。帰国後も国際的な研究グループに加わって国内外で研究発表を行っている。

무라세 아마테오

세이카쿠인대학교 인문학부 구미문화학과 특임강사

1977년 도쿄생. 국제기독교대학교에서 서양과학사를 배우고 독일 하이델베르크 대학에서 유학. 요하임 텔레 교수의 지도로 근대 초기의 연금술사, 의학개혁가 파라켈수스(Paracelsus)의 사상에 대해 연구. “1600년 전후 독일어권에서의 파라켈수스주의와 종말론” 연구로 동 대학 박사학위를 취득. 귀국 후 국제적 연구팀에 참가하며 연구발표에 주력.

白 正 煥 베크·죤프안 [Chon Hwang Baek]

ルーテル学院大学卒業, 東京神学大学大学院博士課程前期課程修了。日本基督教団池袋西教会を経て, 2004年4月から日本基督教団用賀教会主任担任牧師。

루터학원대학, 동경신학대학대학원박사과정 전기과정졸업,

일본기독교단 이케부쿠로니시교회 전도사 부목사를 거쳐

2004년4월부터 일본기독교단 오우가교회 담임목사

ナグネ 洛 雲海 [Nag, Woon-Hae]

1964年東京生まれ。日本人。東京神学大学大学院修士課程修了。韓国・延世大学校韓国語学学卒。韓国政府招請留学生として韓国に留学。長老会神学大学校(PUTS)大学院修了。神学博士。韓国・長老会神学大学校外国人専任教授(組織神学)。聖学院大学総合研究所客員教授。〔著書〕*Japanese and Korean Theologians in Dialogue, A Theology of Japan Vol. 10*, Seigakuin University Press, 2017. (共著), 『평신도를 위한 알기 쉬운 교리(信徒のための教理)』(서울: 도서출판 하늘향, 2017) (共著) など。

〔論文〕「伝道のパースペクティヴにおける聖霊論——理性・靈性・身体性を統合する統全的聖霊論のための序説的試論」『季刊教会』No. 92 (東京:日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所, 2013), 「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論」『神学』75号。山口隆康教授献呈論文集, 東京神学大学神学会 (東京:教文館, 2013), ‘춘계 이종성 박사의 종말론(「春溪 李鍾聲博士의 終末論」),’ 책임편집 김도훈·박성규 (責任編集 金道訓·朴成奎), 『춘계 이종성 박사의 생애와 사상(春溪 李鍾聲博士의 生涯と思想)』(서울: 장로회 신학대학교 출판부, 2014), ‘생명보다 소중한 것은 있는가?(いのちより大切なものはあるか),’ 책임편집 윤철호, 박성규, 백충현 (責任編集 尹哲昊, 朴成奎, 白忠鉉), 『온신학의 지평(オン神学の地平)』(서울: 장로회신학대학교 출판부, 2017)ほか, 論文翻訳・書評多数。

낙운해

1964년 도쿄 출생. 일본인. 도쿄신학대학대학원 졸업 (신학석사). 한국·연세대학교한국어학당 졸업. 한국정부초청장학생으로 한국유학. 장로회신학대학교 (PUTS) 대학원 졸업 (신학박사). 장로회신학대학교 외국인전임교수 (조직신학). 일본·SEIGAKUIN University 종합연구소 객원교수.

[저서] (공저) *Japanese and Korean Theologians in Dialogue, A Theology of Japan Vol.10*, Seigakuin University Press, 2017, (공저) 『평신도를 위한 알기 쉬운 교리』. 책임편집 최윤배, 박성규, 백충현. (서울: 하늘향, 2017) 등.

[논문] 「伝道のパースペクティブにおける聖霊論——理性・靈性・身体性を統合する統全的聖霊論のための序説的試論〈전도의 퍼스펙티브 안에서 성령론——이성·영성·신체성을 통합하는 통전적 성령론을 위한 서설적 시론〉」 『季刊教会』 No.92 (東京: 日本基督教団・改革長老教会協議会・教会研究所, 2013), 「説教のことばと説教者の生——ことばの受肉をめぐる説教者論〈설교의 말씀과 설교자의 삶——말씀의 성육신에 관한 설교자론〉」 『神学』 75号, 山口隆康教授献呈論文集, 東京神学大学神学会 (東京: 教文館, 2013), ‘춘계 이종성 박사의 종말론’ 『춘계 이종성 박사의 생애와 사상』. 책임편집 김도훈·박성규 (서울: 장로회신학대학교출판부, 2014), ‘생명보다 소중한 것은 있는가?’ 『온신학의 지평』. 책임편집 윤철호, 박성규, 백충현 (서울: 장로회신학대학교 출판부, 2017). 이외에 번역 논문들이 다수 있음.

菊地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業，同大学院文学研究科博士課程後期中退，東京神学大学大学院（修士）修了，米国エモリー大学大学院（Th.M.）修了。博士（学術，聖学院大学）。1992年，聖学院大学人文学部宗教研主任，専任講師に就任。現在，政治経済学部チャブレン，同教授，聖学院キリスト教センター所長。

[著書] 『ティリッヒと逆説的合一の系譜』（聖学院大学出版会），『永遠の言葉——キリスト教概論』（編著，同），『信仰から信仰へ』（日本伝道出版），『とこしなえのもの』（同）。

[論文] 「M. L. キングの神人共働論」 『聖学院大学総合研究所紀要』 59号，2015年，「M. L. キングの人間論」 『同』 60号，2015年，「M. L. キングと R. B. グレッグ」 『同』 64号，2017年など。

ヘンドリック・ウォードリング Hendrik E. S. Woldring

1943年生まれ。オランダ政治哲学界の重鎮。1986年アムステルダム自由大学 (Frije Universiteit Amsterdam) 哲学部の政治哲学教授に就任。2008年同大学定年退職。現在，同大学名誉教授。Ph.D. (アムステルダム自由大学, 1976年)。キリスト教政党 CDA (The Christian Democratic Appeal) の黨員として，1999年より2007年までオランダ国会議員 (The First Chamber) を務める。2010年10月20日同党を脱退。現在は，福音の宣教者にして，学校・教育改革の指導者

および教育学者のヨハネス・アモス・コメニウス (Johannes Amos Comenius) の研究に専念。
〔著書〕 *Karl Mannheim: The Development of his Thought* (1987), *Politieke Filosofie van de Christendemocratie* (2003), *Pluralisme, Integratie en Cohesie* (2006), *Een Handvol Filosofen: Geschiedenis van de Filosofiebeoefening aan de Vrije Universiteit in Amsterdam van 1880 tot 2012* (2013), *Jan Amos Comenius: Zijn leven, missie en erfenis* (2014) など多数。

谷口隆一郎 たにぐち・りゅういちろう

聖学院大学総合研究所教授。アムステルダム自由大学哲学大学院博士課程卒業 (1998年)。Ph.D. (哲学博士)。キリスト教学研究大学院 (Institute For Christian Studies) 哲学修士課程 (M.Phil.F.) 単取得退学 (1989年)。ウェスト・ヴァージニア大学経済学大学院修士課程卒業 (West Virginia University, M.A., 1987年)。キリスト教学研究大学院研究助手, 一般財団法人昭和経済研究所研究員, 聖学院大学総合研究所助教授, 聖学院大学政治経済学部准教授・教授を経て, 現職。専門領域は, 哲学・倫理学・政治哲学・公共哲学の隣接領域。

〔著書〕 *Liberalism and Its Metaphysical Difference: A Critique of the Ground of F. A. von Hayek's Political Philosophy* (VU University Press, 1997), 『横超の倫理——ローティ, ハイエク, シンガーを越えて』(春風社, 2014年), 編著に『コミュニティ政策研究の課題』(三恵社, 2010年) など。

小川 隆夫 おがわ・たかお

立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科修士課程修了。リーズベケット大学大学院修士課程 English Language Teaching コース修了。現在, 聖学院大学人文学部児童学科客員教授。〔著書〕『先生英語やろうよ! ——子どもが活躍できる! すぐに使える!』(松香フォニックス, 2006年), 『高学年のための小学校英語——今日からできる! 実践ガイド (先生英語やろうよ! 2)』(松香フォニックス, 2007年), 『小学校英語はじめる教科書』(共著, 松香フォニックス, 2017年) など。

松本のぞみ まつもと・のぞみ

東京神学大学大学院神学研究科博士前期課程修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程修了。現在, 日本基督教団中京教会牧師, 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在籍。

小林 茂之 こばやし・しげゆき

東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士課程博士論文提出資格取得，単位取得満期退学。2003年より聖学院大学人文学部所属，2016年4月より同教授。2012～13年度ケンブリッジ大学クレアホールコレッジ客員研究員として英国ケンブリッジに滞在。2013年より同コレッジ終身メンバー。英語歴史言語学，通時統語論，比較統語論専攻。主な研究テーマは，古英語・中英語における言語変化。英訳聖書および初期英語キリスト教文献へのラテン語・ギリシア語からの影響を中心に，文献学・歴史学との学際的研究も進めている。